

日本最西端の学校と地域紹介

～与那国町立久部良中学校～



日本で一番西にある学校

本校は、1955年創立の歴史と伝統ある学校である。正門から入ってすぐに、校訓である『世界雄飛』の石碑がある。元沖縄県知事で本地区出身者の西銘順治氏の揮毫によるもので、1981年に建立された。本校は、日本で一番西にある学校で、晴れた日には、年に数回台湾が見える。素晴らしい自然環境の中、生徒はすくすくと育っている。



【本校の特色ある学校行事・地域行事】



【海神祭ハーリー】



【郷土芸能発表会】



【豊年祭クハ餅づくり】



【洋上体験】



【町少年陸上】



【運動会大漁旗】



【金刀比羅祭】



【台湾修学旅行・夜市】



【最西端の西崎から久部良漁港と久部良集落】



日本最西端の島である与那国島には祖納（そない）、久部良（くぶら）、比川（ひがわ）と3つの集落がある。本校がある「久部良地区」は空港から車で約10分、島の西部に位置し、漁業が盛んである。旧暦5月4日には海神祭（ハーリー）が盛大に行われる。近海でのカジキの漁獲高日本一。保育所、幼稚園、郵便局、商店、宿泊施設、飲食店がある。（診療所、役場は祖納地区）日本で最後に沈む夕日が見られることで知られる場所である。

